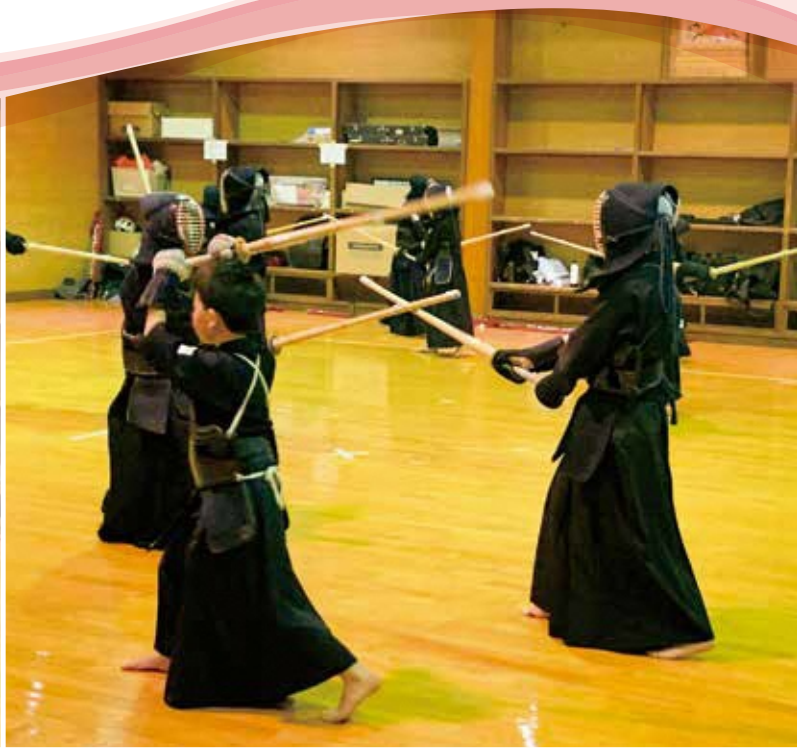
むらやま
議会だより

3月 定例会
6月
9月
12月



写真／楯岡剣道スポーツ少年団練習にて

もくじ

◎３月定例会…… Ｐ２～３
◎予算特別委員会・１月臨時会…… Ｐ４～５
◎一般質問…… Ｐ６～９
◎議会活動レポート…… Ｐ９～11
◎市民の声…… Ｐ12

←携帯からはコチラ

2024
vol.121
2024年5月1日
発　行

00万円 76万円 を可決

3月 定例会

令和6年第2回定例会は2月26日から3月19日までの会期で開催され、新年度予算などを審議しました。

新年度一般会計は、「第5次村山市総合計画」の最終年度にあたり、新「道の駅」整備をはじめとする「村山駅西エリアの開発」、若者の定住促進や安心して子どもを産み育てられる環境の充実を図る「子育てスマイルプロジェクト」「安全・安心な暮らしと住みよいまちづくり」を柱とする「次の世代へ引き継ぐ魅力ある村山市を創る」の実現に向け、積極的な事業を推進するため174億4千万円となりました。

新年度予算のほか、条例の一部改正など25件が提案され、新年度予算7件と補正予算5件は特別委員会に付託し、全議案原案のとおり可決しました。

条例等

ピックアップ1!

村山市犯罪被害者等支援条例

犯罪被害者などを支える地域社会の形成

犯罪などにより被害を受けた者およびその家族または遺族が、受けた被害の早期の回復および軽減に向けた取組を推進し、犯罪被害者などを支える地域社会の形成を図ることを目的に、犯罪被害者などの支援の基本となる事項を定めるものです。

ピックアップ2!

第1号被保険者の介護保険料を改定

第9期介護保険事業計画の策定に伴い、高齢者（65歳以上）の介護保険料の見直しが行われ、基準となる第5段階の保険料（月額）が5800円から5300円に引き下げられます。

東沢バラ公園親水広場予定地

ポイント

●持続可能なまちづくり

自然災害時の断水対策として、幕井水源を活用した緊急時浄水施設整備事業。その水を活用した東沢バラ公園親水広場整備事業。

農業を維持・発展するための重点作物担い手確保事業。

●少子化対策、子育て世代の定住促進を図ることを目的に展開してきた「子育てスマイルプロジェクト」に加え、18歳までの医療費（外来・入院）の無料化、住宅の新築などに対する子育て応援・定住促進事業の拡充。

●中心市街地の基盤整備

市街地の活性化や歩行者の安全性、指定避難所へのアクセス向上による地域防災機能の強化などを目的として進めてきた「市道本郷通り線」や「市道晦日町南楯線」などの道路の整備事業。

令和６年度 一般会計予算総額 174億4,0

特別会計予算総額 91億7,4

３月定例会議決結果一覧

議案番号	件　名	結　果
議第３号	令和５年度村山市一般会計補正予算（第８号）	可決（全会一致）
議第４号	令和５年度村山市国民健康保険事業特別会計補正予算（第１号）	可決（全会一致）
議第５号	令和５年度村山市財産区特別会計補正予算（第２号）	可決（全会一致）
議第６号	令和５年度村山市介護保険事業特別会計補正予算（第３号）	可決（全会一致）
議第７号	令和５年度村山市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第１号）	可決（全会一致）
議第８号	令和６年度村山市一般会計予算	可決（全会一致）
議第９号	令和６年度村山市国民健康保険事業特別会計予算	可決（全会一致）
議第10号	令和６年度村山市財産区特別会計予算	可決（全会一致）
議第11号	令和６年度村山市介護保険事業特別会計予算	可決（全会一致）
議第12号	令和６年度村山市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決（賛成多数）
議第13号	令和６年度村山市水道事業会計予算	可決（全会一致）
議第14号	令和６年度村山市下水道事業会計予算	可決（全会一致）
議第15号	村山市犯罪被害者等支援条例について	可決（全会一致）
議第16号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について	可決（全会一致）
議第17号	村山市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決（全会一致）
議第18号	村山市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可決（全会一致）
議第19号	村山市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	可決（全会一致）
議第20号	村山市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	可決（全会一致）
議第21号	村山市手数料条例の一部を改正する条例について	可決（全会一致）
議第22号	村山市介護保険条例の一部を改正する条例について	可決（全会一致）
議第23号	村山市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について	可決（全会一致）
議第24号	村山市道路占用料条例の一部を改正する条例について	可決（全会一致）
議第25号	村山市水道事業給水条例の一部を改正する条例について	可決（全会一致）
議第26号	財産の無償貸付について	可決（全会一致）
議第27号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意（全会一致）
請願第１号	健康保険証を廃止せず存続を求める国への意見書採択を求める請願	不採択（賛成少数）

ピックアップ１！

ピックアップ２！

市道晦日町南楯線

新年度の主な事業

拡子育て応援・定住促進事業	８，０００万円
拡子育て支援医療給付事業	１億１，０６６万円
新障がい児保育受入促進事業	９６０万円
新移動販売支援事業補助金	１５０万円
新道路施設点検調査補修事業	３，６５０万円
拡生活交通対策事業	５，８１３万円
新東沢バラ公園再整備事業	９，７５０万円
新市制施行70周年記念事業	４３０万円
新各種証明コンビニ交付事業	２，０７１万円
新重点作物担い手確保事業	４０４万円
新田んぼダム施設整備事業	１５６万円
新小学校統合事業	１３７万円
拡村山産業高等学校支援事業	５９６万円
新消防指令業務共同運用事業	１億６，１３３万円
拡危険ブロック塀等撤去支援事業	１００万円

新＝新規　拡＝拡充

令和６年度 予算特別委員会

秋葉　新一
予算特別委員長

予算特別委員会に付託されました令和６年度村山市一般会計予算から、令和６年度村山市下水道事業会計予算までの予算７件について、審査の経過及び結果をご報告申し上げます。

本委員会は、３月８日に委員会を開催し質疑を行ったのち２つの分科会を設置し、３月11日から３月13日まで、副市長及び教育長立会いのもと、予算編成にあたっての基本姿勢に令和５年度決算の審査報告が生かされているか、現在の財政状況に合致しているか、また、真に市民の理解と賛同を得られるものとなっているかなどの視点で慎重に審査を行いました。

審査の過程で各委員が述べられた意見や要望などの詳細については、予算特別委員会における両分科会委員長の報告をもってかえさせていただきます。

審査の結果につきましては、本日開催した委員会において全会一致で原案どおり可決しました。

以上で、予算特別委員会における審査の経過及び結果について報告を終わります。

活かせ 議員の指摘

総務文教分科会

●第六次総合計画の策定

市単独の計画のほか国の地方版総合戦略に合わせた総合計画となるよう要望する。

●ふるさと納税寄附金の一層の拡大

高い寄附額を維持している。特に企業版ふるさと納税は、市と企業の双方にメリットがあり一層積極的な取り組みを要望する。

●防災対策

本年１月の能登半島地震により、家屋の倒壊、火災、津波、土砂災害など様々な災害が発生した。市民の防災意識の高まりを生かし、さらなる防災意識の向上に努められるよう要望する。

●部活動の地域移行について

外部指導員の確保など課題は多いが、子どもたちがスポーツや文化芸術活動に親しむ機会を損なうことのないよう要望する。

●税金の滞納をなくす

市税は、市政運営の貴重な財源である。公平・公正の観点からも徹底した徴収業務により、収納率の向上につながるよう要望する。

●消防団員の確保について

地域防災の中核となる消防団員の確保については、引き続き尽力されるよう要望する。

●マイナンバーカードの普及

行政サービスのデジタル化は、今後ますます進められる。ついてはマイナンバーカードの交付率向上に向けた取り組みを要望する。

産業厚生分科会

●農地集積、集約化に係る地域計画について

都市計画マスタープランとの整合を図りながら、農業振興と都市計画の両面から市政発展につなげられる計画の策定を要望する。

●市道の新設、維持管理

市民生活にとって、重要な事業である。さらに、建設業界における働き方改革に即した発注などを行うとともに、工期の平準化を図るよう要望する。

●介護予防について

今後ますます重要と考える。保健課の高齢者への健康づくり事業と福祉課の介護予防事業に相違や支援の隙間が生じないよう両課の連携を図り、介護予防の推進を要望する。

●村山駅西開発事業

新「道の駅」をはじめ商業施設の誘致など、多くの計画が動きを見せようとしている。地権者への丁寧な説明により理解をいただき、事業が前進するよう要望する。

●緊急時浄水施設整備事業について

村山広域水道以外の市独自の浄水施設として期待され、その役割は今後の災害時に備える重要なものである。防災機能の強化として整備が進むよう要望する。

●重度心身障がい児介護者支援金について

予想を超える利用があり、今後一層周知徹底されるよう要望する。

3月 補正予算

一般会計予算総額

5億831万円を追加し、184億9,314万円

補正予算のポイント

ふるさとづくり応援寄附金の増加に伴う基金積立や経費への対応、今冬の記録的少雪により地域経済への悪影響が懸念されることから、経済対策として建設工事の早期発注を行い、影響の減少を図るものです。

ふるさとづくり基金積立金
2億616万円
ふるさとづくり応援寄附金が順調に伸びており、11月臨時会に続き積立するものです。

ふるさとづくり応援寄附金推進事業
1億1973万円
ふるさとづくり応援寄附金の増に伴い、ふるさと納税返礼品の発送やふるさと納税受付サイトにかかる経費を追加するものです。

雪室施設管理運営委託料
230万円

農産物ブランド力保持緊急対策事業費補助金
345万円
記録的少雪により、市とJAみちのく村山がそれぞれ所有する雪室施設に搬入する雪の確保に必要な経費増に対応するものです。

余暇活動施設整備基金
8000万円
クアハウス碁点と道の駅むらやまの施設整備や修繕に備えるために積み立てるものです。令和5年度末基金残高見込みは1億7175万円。

本市の観光を担うクアハウス碁点

好評を得ている雪むろ米

道路維持管理事業工事請負費
1050万円
地区要望に基づく、市道4路線の早期発注のための工事費です。

道路新設改良事業測量設計等委託料
2101万円
市道鶴ケ町西線、地方事務所笛田線などの早期完成に向けて工事請負費を追加するものです。

除雪事業工事請負費
500万円
市道灰塚西浦線から県道東根尾花沢線の一部区間を散水する消雪パイプの操作盤の改修工事をするものです。

1月 臨時会

一般会計予算総額

1億4,127万円を追加し、179億8,483万円

令和6年第1回臨時会が1月29日に開催されました。条例の一部改正1件と補正予算1件が提案され、両議案原案のとおり可決しました。

条例等

村山市手数料条例の一部を改正する条例

戸籍法の一部改正に伴い、戸籍関係証明の交付等に係る手数料について規定を整備するものです。

補正予算（主なもの）

◎低所得世帯物価高騰対策給付金給付事業
7106万円

◎春のくらし応援商品券事業
6819万円

有効期限にご注意を

田中　正信

空き家の増加が著しいが、対策について伺う

答弁　最重要課題であり、一層前向きに取り組む

動画はこちら→

Q　〝建物の老朽化〟とそこに住む人たちの〝高齢化〟という、2つの〝老い〟が空き家問題にとって非常に深刻だ。

空き家防止に向け、①〝住民による住民のための〟組合　②将来の解体費用に充てる若いうちからの積み立て預金　③官民一体の空き家防止活動を3本柱とした実行組合を設立してはどうか。そして、地域に根を下ろした〝組織〟をつくり、〝住民総参加〟の運動展開を。

A　本市は一昨年「まち整備課」を新設し空き家防止に取り組んできた。空き家の問題を最重要課題として、本提案を含め鋭意研究・検討したい。

Q　本市はシルバー人材センターと空き家管理サポート業務を締結している。さらに、木造住宅の価値を評価する簡易鑑定士の業務を加えてはどうか。

A　高齢者の社会参加促進や、市が依頼する空き家管理サポート業務のスキルアップが期待できると思うので、シルバー人材センターと相談したい。

その他の質問
- 蔵屋敷の活用について
- 公営住宅の防災対策について

空き家の様子

吉田　創

都市計画と地域計画の整合性をとるべきだ

答弁　都市開発と農地の整合性を心配している

動画はこちら→

Q　人口減少の中で市は都市計画マスタープランと、地域農業の将来を考える地域計画の整合性をとりながら開発を行い、農業を振興し、先を見据えた計画をつくることが必要である。地域計画策定に向けて地域座談会を行っているが、どんな意見が出ているか。

A　①農業基盤整備計画を進める際、宅地造成計画との関連があり、早めに方向性を示してほしい②楢岡地域では都市部に近い農地が多く、駅西や渋田地区など都市開発が進んでおり、農地との整合性を非常に心配しているなどの意見がでている。

Q　新町渋田地区を宅地開発する予定は。

A　可能性はある。民間企業の動向をみながら検討していく。

Q　鶴ヶ町西線周辺の蓬田エリア、湯沢地区の神田・白坂エリアは農業振興地域となっており、基盤整備を考えているが、今後宅地開発予定は。

A　鶴ヶ町西線沿いに宅地が張り付くとよい。しかし現在はっきりとした計画はないが、検討場所になってくる。

Q　はっきりした計画がなければないと決断してほしい。基盤整備も出来なくなる。村山市のために何が最善なのか計画・実行してほしい。

その他の質問
- 志布市政3期目折り返しにあたり今後の展望について

地域座談会のようす

3月4日、5日　7人の議員が一般質問を行いました。

松倉　慶子

第2子以降を断念する家庭への支援について

答弁　多子加算など経済的支援を充実している

動画はこちら→

Q　第2子以降を断念するような世帯にどのような支援がなされたのか。

A　ライフイベントに合わせた支援「子育てスマイルプロジェクト」と称して実施しており、特に第2子以上の子育て世帯に対し2人目以降の保育料無償化、学童保育利用料助成など経済的支援を実施している。

Q　妊娠中の不安に対し精神的なケアは行われているのか。

A　妊娠期から子育てまで切れ目ない相談支援拠点として、子育て世代包括支援センター「ぽっぴーるーむ」を設置し専門的知識を持つ担当者が対応している。産後休暇に入ったタイミングで後期面談、出生2週間後の電話相談、保健師による家庭訪問、各月齢による健康相談、産科医療機関でのデイサービスなど産後ケアの充実を図り精神的不安の軽減に努めている。

Q　Link MURAYAMAの子どもの遊び場整備について、どのような取り組みがあったのか。

A　身体を使って遊ぶ場所、落ちついて遊ぶ場所の2種類を整備した。旧体育館を利用した屋内広場やピロティ、天然芝の中央広場、人工芝を設置した西側広場旧グラウンド、落ち着いて遊べる場所としてキッズラボなどを設置した。

Q　屋外にブランコや滑り台など遊具の設置予定はないのか。

A　子どもたちの自由な発想で遊んでもらうことを願い、他とは一線を画した遊び場を目指している。

Q　昨年のような猛暑対策として扇風機などの設置をして欲しい。

A　昨年は熱中症指数危険日となり閉鎖した時もあった。今年度は大型冷風機3台設置予定である。

その他の質問

- 病中病後児ケア施設について
- 東北中央自動車道村山IC周辺の環境整備について

Link MURAYAMA敷地内の整備された中央広場

阿部　正任

少雪による除雪業者への影響と対応は

答弁　検討している

動画はこちら→

Q　市内3ブロックに分けての除雪体制となってから、除雪要望への対応も細やかで早く、苦情も減った。除雪事業には感謝するところである。しかしこの冬は異例の少雪となった。これまでの除雪事業者の稼働状況、除雪費の執行状況はどのようになっているか。

A　2月末現在、出動回数は概ね8回、山の内地区で14回。契約金額に対する執行率は各ブロックで2～3割程度となっている。

Q　今冬のように極端に稼働状況が少なかった場合、元請業者や下請け業者、数十名の除雪専従者の事業存続も、収入の減少により難しくなると思われる。市ではどのような収入保障を行っているか。

A　下請け業者も含め要望はなかったが、今回の少雪の状況を考慮し見直しを行い、車両オペレーターには10時間分の加算と事業者への管理経費などへの新たな保障を行い、オペレーター確保など除雪体制を保持していく。

Q　第2子以降を断念するような世帯にどのような支援がなされたのか。

Q　妊娠中の不安に対し精神的なケアは行われているのか。

Q　Link MURAYAMAの子どもの遊び場整備について、どのような取り組みがあったのか。

Q　屋外にブランコや滑り台など遊具の設置予定はないのか。

Q　昨年のような猛暑対策として扇風機などの設置をして欲しい。

Q　市内3ブロックに分けての除雪体制となってから、除雪要望への対応も細やかで早く、苦情も減った。除雪事業には感謝するところである。しかしこの冬は異例の少雪となった。これまでの除雪事業者の稼働状況、除雪費の執行状況はどのようになっているか。

Q　今冬のように極端に稼働状況が少なかった場合、元請業者や下請け業者、数十名の除雪専従者の事業存続も、収入の減少により難しくなると思われる。市ではどのような収入保障を行っているか。

出動を待つ除雪車

髙橋　卯任

道路拡幅して学校で乗降できるようにしては

答弁　交通規制を設け、通行する車を減らしたい

動画はこちら→

Q　楯岡小学校登校時のスクールバス運行について伺う。現在バス通学の子どもたちは、旧国道13号線切通しバス停で降車し、そこから徒歩で通学している。校舎の改築、駐車場の整備も完了しており、学校構内で降車できるようにしてはどうかと考えるが、現状をどう認識しているか伺う。

A　スクールバスを利用する子どもたちを学校まで運ぶことが基本と考えるが、通学路となっている市道中楯線の通学時間帯の状況を考えると、現行スタイルは子どもたちの安全確保に対して十分配慮されていると認識している。

Q　スクールバスを学校構内まで乗り入れさせる場合、何が問題と捉えているか。

A　道路も狭く、出勤前の車や登校班による徒歩通学で混雑が予想され、安全確保が心配される。

Q　今後の小学校統合に対応していくためにも、中楯線の狭あい区間を拡幅する必要があるのではないか。

A　現在の狭あい区間を拡幅してスクールバスを乗り入れできるようにするよりも、時間帯の交通規制を設けるなどして、通学路になるべく車が入らないようにするのが本来と考える。

楯岡小学校駐車場構内

森　　直也

高齢者の安全支援について

答弁　安全に暮らせるまちづくりに取り組む

動画はこちら→

Q　先日、高齢者一人暮らし宅の火災で痛ましい事故があった。これまで本市を支えてきた高齢者が事故にあわずに、命を守り安全で安心に暮らせるまちづくりが私たちの使命と考える。本市の高齢者への支援の現状と課題、一人暮らし世帯の状況について伺う。

A　高齢者世帯の内、一人暮らし世帯は令和元年度で12・4％、令和5年度は14％になり、今後も増える。

Q　「緊急通報体制整備事業」の利用対象者と利用実績を伺う。

A　65歳以上で要介護などの認定を受け、要件を満たした世帯が対象である。見守り、緊急時の連絡手段となり日常生活の不安を解消している。令和4年度は15件の救急通報があり、5件の救急搬送があった。

Q　「一人暮らし高齢者の火災予防安全点検事業」の実施内容と実績を伺う。

A　80歳以上の一人暮らしの高齢者で点検を希望する方を対象とし、令和5年度の対象者は413世帯、内71世帯で実施している。消防署員は防災対策と災害防止の指導、福祉課は視力・聴力などの健康チェックを行い福祉サービスを紹介している。

　点検を希望しない理由は、①火災報知機を設置している　②他人が家の中に入るのを拒む　③社会と関わりたくない、である。点検をしたから絶対安全とは言えないが、高齢者が安心して暮らせるよう取り組む。

春に向けて庭木の手入れをする高齢者

中里　芳之

小中学校給食の無償化を

答弁　国が本腰を入れればやる

動画はこちら→

Q 学校給食の無償化は大きなうねりとなっており、県内では23年度9市町村から24年度さらに6市町村増えている。村山市も早急に実施を。

A 国が本腰を入れればそれに沿っていきたい。

Q 県がパートナーシップ宣誓制度を実施したが、本市の市営住宅への入居や公立病院での面会などについては、本市でのパートナーシップ制度導入などがなければサービスを受けることはできない。制度のいち早い実施を。

A 今後も推移を見守る。

Q 自衛隊への適齢者個人情報提供の実施状況は。

A 令和6年度から18歳に加え22歳の名簿提供を行う。

Q 名簿は厳正に取り扱っているというが、名簿をもとにしたポスティングは民間業者に委託しているのか。

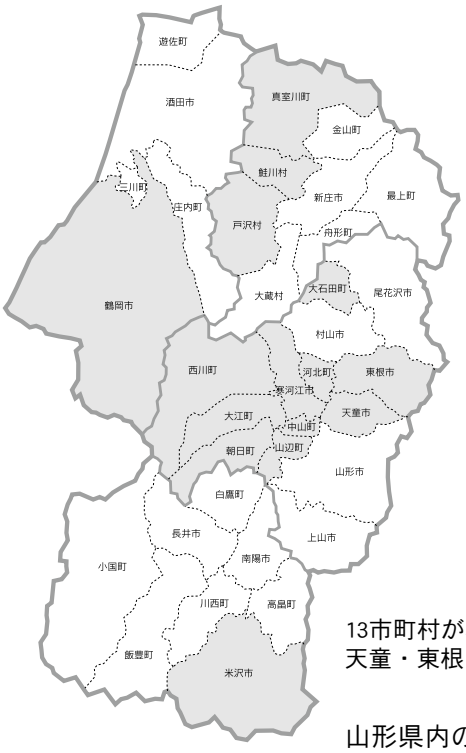
A そこまでは認識していない。

Q 名簿提供の根拠としている自衛隊法や同施行令に、個人情報に関する規定はあるか。

A そこまでの認識はない。

Q 名簿からの除外申請を導入し周知を。

A 今までの流れでやる。



13市町村が小中学校給食無償化
天童・東根は中学校のみ無償

山形県内の学校給食無償化自治体

3月定例会 審議討論

○請願第1号について

・賛成討論　中里芳之議員

マイナ保険証のトラブルが続出している。医療事故になりかねず、10割負担のケースもある。短期証廃止で医療を受ける権利が守られない。総点検やトラブル対処、資格確認書発行に予算をかけるのは無駄だ。現保険証存続がもっとも簡単である。マイナ保険証の目的は、医療・社会保障抑制と個人情報のビジネス利用だ。世界では社会保障番号への警鐘こそ広がっているが、日本だけが逆行している。国民の76・6%が保険証廃止の撤回や延期を求めている。

・反対討論　柴崎亮太議員

マイナンバーカードと健康保険証の一体化については、様々なメリットがある一方、デジタル化に不安のある方への配慮が必要なことも事実である。国は移行に向けて資格確認書の交付など、一体化に向けた準備期間を設けるとしている。

情報格差の解消に向けては国や各自治体が加速させており、人口減少にある日本において、持続可能な社会の実現に各分野でのDXが急務であり、発展のためには必要不可欠である。

審議結果報告　（3月定例会において賛否の分かれた議案についてのみ掲載しました）

議案等の名称			議決結果	市政・公明クラブ													改革クラブ		無会派	賛成	反対
				松倉 慶子	森 直也	瀧田 順子	柴崎 亮太	吉田 創	田中 正信	矢萩 浩次	石澤 祐一	大山 正弘	秋葉 新一	細矢 清隆	高橋菜穂子	髙橋 卯任	阿部 正任	中里 芳之		
市長提出議案	第12号	令和6年度村山市後期高齢者医療事業特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	欠	○	○	×	12	1
請願	第1号	健康保険証を廃止せず存続を求める国への意見書採択を求める請願	否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議	欠	○	○	○	3	10

議長は可否同数の場合以外は採決に加わりません。

可＝可決　否＝否決　○＝賛成　×＝反対　欠＝欠席　退＝退席　議＝議長　裁＝裁決

総務文教常任委員会
消防関係者との意見交換会。議会報告会

●2月25日

消防署員および消防団員19名との意見交換会および議会報告会を開催しました。

意見交換会では、

・災害の多発化などに伴い、女性団員に求められる期待は大きい。多くの女性の方に消防団員になっていただきたい。

・新興住宅地ほど消防団員の〝なり手〟がいない。町内会はじめ、行政、市議会議員に力を貸していただきたい。

グループごとの意見交換

・ポンプ自動車は、中型運転免許が必要だが、若い団員は取得者が少ない。市として免許取得費用の補助をするなど支援していただきたい。

・地域住民同士の繋がりが希薄になっていると思える。大震災のことを考えれば、地域との交流は欠かせないので話し合いの場を設けていただきたい。

・消防団員の士気と団結力を高めるためにもコミュニケーション不足が心配される。

以上のような意見が出されましたので、常任委員会として意見を集約し、よりよいまちづくりに活かしてまいります。

活発な意見交換が行われる

産業厚生常任委員会
管内視察・意見交換会

●2月2日

富並地区2カ所の施設視察を行いました。

・富並青柳農産㈱

ストック栽培は、家族4人と従業員2人体制です。今冬は雪が少なく、ハウスまわりの除雪作業がなく仕事が進みましたが、燃料費が高く暖房費がかさむことと、2024年問題で運送に時間がかかることを心配されていました。

・㈱マルサン農園

たらの芽の栽培をしていますが、市内の飲食店やそば街道の各店とのコラボ企画で消費拡大を図っていただければと希望していました。

たらの芽栽培視察

・市内農業者との意見交換会

・一昨年は猛暑によりサクランボの発芽が早く、収穫前の高温により品質が低下した。

・ニンジンなどの冬野菜が高温により芽が出ない状況もあった。その半面、モモに関しては雨が少なく品質が良かった。

・市内全域でイノシシやクマなどによる鳥獣被害はとても深刻な状況だ。

・サクランボ生産をやめられる方の農地をそのまま借り受けることが出来ると、収入もすぐ得られるので参入しやすいのではないか。

・サクランボの団地化をする場合、水源をセットで考えていただきたい。

・ふるさと納税の返礼品として農作物を出しているが、それに対するリアクションが生産者に届いていない。

以上のような意見が出されましたので、常任委員会として意見を集約し、政策提言してまいります。

農業者と意見交換会の様子

市政・公明クラブ　要望活動

●1月30日～31日

市政公明クラブは志布市長、能登県議に同行していただき、各省庁に要望活動を実施してまいりました。

・農林水産副大臣鈴木憲和氏には、「特別交付税の確保」「猛暑による作物被害対策の拡充」「スマート農業の実現に向けた支援の拡充」「豪雪対策の支援」などを要望しました。その後、農業分野における男女共同参画について研修を受け、農業委員会には女性の参画が重要だとお聞きしました。

・こども家庭庁には、「子育て世帯への経済的支援の拡充強化」を要望しました。その後、こども基本法、こども大綱について研修を受け、その中でこどもと若者が身体的・精神的・社会的に幸せな生活ができるよう、「こどもまんなか社会」を作ることが重要だとお聞きしました。

・総務省過疎対策室長より、過疎地域における復興支援対策について研修を受け、その中で特に強調されたことは、議論の場を作ること、そこから人と人との繋がりが生まれ活性化するとお聞きしました。

こども家庭庁への要望書を手渡し

改革クラブ　行政視察

●2月7日

参議院議員会館にて説明を受けました。

総務省地域自立応援課　地域おこし協力隊制度を活用した地方創生について、現在6500人余りが全国で活躍しています。令和8年度までに1万人を目標としています。

農水省鳥獣対策・農村環境課　全国的にはイノシシ、シカの被害額、生息数も減少しています。広域や地域での捕獲サポート体制の構築、ICT技術を活用して支援を行います。

国交省地域交通課　全国の多くの居住区で様々な要因により移動手段の確保が求められています。官民、交通事業者間、他分野も含めた共創を推進し、交通DXなどを活用した地域公共交通活性化、再生を支援していきます。

●2月8日

茨城県つくば市　国立研究開発法人農研機構にて、事業の概要説明、試験圃場でのモモの省力樹形への取り組みを視察しました。

茨城県境町　町で導入した市街地を走る自動運転バスに体験乗車、導入の経緯やシステムについて説明を受けました。

省力樹形化されたモモの木

議会活動

■1月
- 10日　広報広聴委員会
- 11日　議会運営委員会・総務文教常任委員会協議会
- 12日　産業厚生常任委員会協議会
- 15日　広報広聴委員会
- 18日　広報広聴委員会
  北村山三市一町議会正副議長連絡協議会
- 19日　会派代表者会議・全員協議会
- 24日　会派代表者会議・議会運営委員会
- 25日　総務文教常任委員会協議会
- 29日　全員協議会・本会議
- 30日　市政・公明クラブ行政視察・要望（～31日）

■2月
- 2日　産業厚生常任委員会意見交換会・管内視察
- 7日　改革クラブ研修・行政視察（～8日）
- 8日　全国市議会議長会理事会・評議員会合同会議
  共立衛生処理組合議会運営委員会
- 14日　総務文教常任委員会協議会
  産業厚生常任委員会協議会
  広域斎場事務組合議会運営委員会
- 16日　県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会・定例会
- 19日　全員協議会・会派代表者会議
  共立衛生処理組合議会全員協議会・定例会
- 20日　議会運営委員会・広報広聴委員会
- 21日　総務文教常任委員会協議会
  産業厚生常任委員会意見交換会・管内視察及び議会報告会
- 22日　斎場事務組合議会全員協議会・定例会
- 25日　総務文教常任委員会意見交換会及び議会報告会
- 26日　全員協議会・本会議・予算特別委員会
- 28日　予算特別委員会
- 29日　議会運営委員会

■3月
- 1日　全員協議会・予算特別委員会・本会議
  議会活性化委員会
- 4日　一般質問（～5日）
- 8日　予算特別委員会
- 11日　常任委員会・予算分科会（～13日）
- 15日　常任委員長会・予算分科会委員長会
  議会運営委員会
- 18日　北村山公立病院組合議会運営委員会
  北村山広域行政事務組合議会運営委員会
- 19日　全員協議会・予算特別委員会・本会議
- 25日　北村山広域行政事務組合議会全員協議会・定例会
- 26日　北村山公立病院組合議会全員協議会・定例会

山形県後期高齢者医療広域連合議会の議員に選任

吉田　　創 議員

任期　令和９年10月31日まで

市民の声

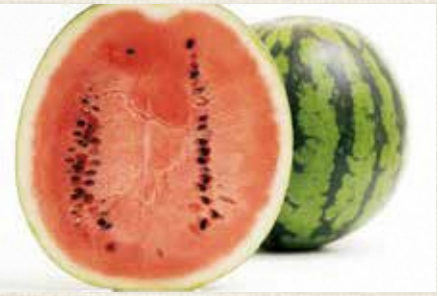
東海林（とうかいりん）　誠 さん
（袖崎）

～高品質なすいか生産で農業の活性化を～

米とすいか生産をしている農家です。平成30年度に園芸作物集積団地として取り組み、令和元年春より７名の会員と７haの面積で「拝見すいか団地」として活動を始めました。拝見地域の土壌は、すいか栽培に最適とされる火山灰土（黒ボク土壌）に覆われており、気候条件は気温の昼夜格差が大きく、果物全般糖度が増すといわれ、生産されたすいかは甘さとシャリ感があり、消費者の皆様に大好評です。

光センサーによる厳しい選果基準で、安全安心なブランドすいかです。病害虫防除、整枝、交配などの管理作業で収穫・出荷まで休む暇はありません。近年高値取引が続き、今年は10名12haの予定です。しかし、高齢化により労働力不足が心配です。

市には新しい事業、新規に農業をしたい人に補助制度があるようなので、議員のみなさんにすいか栽培に関心のある方を紹介してもらえたらありがたいです。



糖度11度以上で甘さ保証

管理作業は毎日です

翌年の作業をスムーズにするため
秋にマルチがけを行います

〈表紙写真〉

楯岡剣道スポーツ少年団は、週２回村山市武道館を会場に、「かっこいい剣道」を目指して練習しています。日頃の練習による個々の実力の向上により、最近の大会でも好成績を挙げています。団員も指導者の方々も剣道に意欲的に取り組まれている姿が印象的でした。

楯岡剣道スポーツ少年団

代表指導員：中村浩　練習日：毎週火曜日・水曜日
練習会場：村山市武道館

精神統一

発行　山形県村山市議会　●編集　村山市議会だより編集委員会
印刷　中央印刷㈱村山支店

広報広聴委員会

委員長　細矢　清隆
副委員長　髙橋　卯任
委員　中里　芳之
田中　正信
阿部　正任
瀧田　順子
森　直也
松倉　慶子

議会の傍聴へお気軽においでください。

◎本会議だけでなく全ての会議が原則公開です。お気軽においでください。
　会議の予定はホームページなどでお知らせします。
◎インターネット中継も配信中　詳しくは、
　https://www.city.murayama.lg.jp/shisei/gikai/index.html
　村山市議会→議会中継
　（ライブ中継・録画中継、外部リンクより）

↑携帯からはコチラ